

環境経営レポート

2024年度
2024年4月～2025年3月



株式会社 田 辺 工 務 店

作成年月日:2025年 4月 7日

Ⅰ．環境経営方針

経営理念

当社は、建設事業活動における環境負荷の軽減を図るために、大気汚染の軽減、資源節約の重要性の認識に立ち、環境保全活動に組織全体で取り組みます。

行動方針

1. 電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量を削減します。
2. 廃棄物の適正処理及び排出量を削減します。
3. 水使用量(排水量)の削減に努めます。
4. 建築基準法等の環境関連法規を遵守します。
5. 地域社会における環境保全活動に積極的に参加します。
6. 化学物質の適正管理を遵守いたします。
7. グリーン購入品を利用するように努めます。
8. 環境経営の継続的改善を誓約します。

2020年 4月 1日

株式会社 田辺工務店

代表取締役 田辺 哲也

Ⅱ. 事業概要

- 会社名 株式会社 田辺工務店
- 代表者氏名 代表取締役 田辺 哲也
- 所在地 〒124-0024
東京都葛飾区新小岩3-11-7
- 事業の内容 総合建設業
- 資本金 3,500万円
- 事業許可番号 東京都知事 許可(特-22) 第17276号
土木工事業、建築工事業
- 認証取得 エコアクション21(2009・7・15取得)
- 環境管理責任者 高橋 和弘
- 環境管理責任者連絡先 TEL:03-3651-5045
又は同上連絡先 FAX:03-3651-9707
Email : takahashi@tanabekoumuten.jp
- 東新小岩資材置き場 東京都葛飾区東新小岩七丁目929-1
- 事業の規模

規 模	単 位	2019年度 (2019.4～2020.3)	2020年度 (2020.4～2021.3)	2021年度 (2021.4～2022.3)	2022年度 (2022.4～2023.3)	2023年度 (2023.4～2024.3)	2024年度 (2024.4～2025.3)
売上高	百万円	850	340	1,538	350	400	800
従業員数	人	17	17	17	16	16	16
床面積	m ²	168.6	168.6	168.6	168.6	168.6	168.6
工事等の件数	件	147	154	130	105	90	96
車所有数	台			12	12	12	12

- 当社は全組織・全活動を対象としています。

Ⅲ．環境経営目標の実績とその評価並びに次年度の環境経営目標

- 1) 二酸化炭素排出量削減
- ：達成できた
△：普通(1割未満増)
×：達成できなかった
- 〈電力の二酸化炭素排出係数:0.455 東京電力〉

項 目	区分	単位	分類	基準値 2022年度値	2024年度 目標値	2024年度 実績値	評 価	2025年度 目標値	2026年度 目標値	2027年度 目標値
二酸化炭素排出量 削減 (電力・化石燃料)	事務所	kg-CO2	電力	9,640.00	9,591.80	9,127.00	○	9,591.80	9,591.80	9,591.80
		kg-CO2	燃料	24,383.00	24,261.00	19,722.00	○	24,261.00	24,261.00	24,261.00
	各現場	kg-CO2	電力	1,590.00	1,582.00	921.00	○	1,582.00	1,582.00	1,582.00
		kg-CO2	燃料	—	—	—	—	—	—	—
	合 計			35,613.00	35434.80	29,770.00	○	35434.80	35434.80	35434.80
削 減 率				99.5%	83.6%	99.5%		99.5%	99.5%	

2) 廃棄物排出量削減

項 目	区分	単位	分類	基準値 2022年度値	2024年度 目標値	2024年度 実績値	評 価	2025年度 目標値	2026年度 目標値	2027年度 目標値
廃棄物排出量削減 (廃棄物処理量)	事務所	t	一般廃棄物	0.42	0.42	0.42	○	0.42	0.42	0.42
	各現場	t	産業廃棄物	50.58	50.33	58.70	×	50.33	50.33	50.33
	合 計			51.00	50.75	59.12	×	50.75	50.75	50.75
	削 減 率				99.5%	115.9%		99.5%	99.5%	99.5%

3) 総排水量の削減量

項 目	区分	単位	分類	基準値 2022年度値	2024年度 目標値	2024年度 実績値	評 価	2025年度 目標値	2026年度 目標値	2027年度 目標値
総排水量削減 (水道使用量)	事務所	m3	—	107.00	106.47	75.00	○	106.47	106.47	106.47
	各現場	m3	—	276.00	274.62	179.00	○	274.62	274.62	274.62
	合 計			383.00	381.09	254.00	○	381.09	381.09	381.09
	削 減 率				99.5%	66.3%		99.5%	99.5%	99.5%

6) 環境対応設計・施工

項 目	区分	単位	分類	基準値	2024年度	2024年度	評 価	2025年度	2026年度	2027年度
				2022年度値	目標値	実績値		目標値	目標値	目標値
設計、施工時 環境対応型製品 の	各現場		—	1	2	0	×	2	2	2

7) 環境保全活動への参加

活動団体名	活動の詳細	参加の回数	評 価	2025年度 目標値	2026年度 目標値	2027年度 目標値
葛飾の川をきれいにする会	区内河川の水質調査、清掃等 別紙資料による	3回	○	参加	参加	参加

参考

事務所電気使用量/太陽光発電量＝20060/4042.9

Ⅳ． 環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

環 境 負 荷 の 軽 減

期間：2024年4月～2025年3月

1) 二酸化炭素排出量

A. 会社事務所 及び B. 工事現場について

目標設定	活動計画	具体的な方法	評価及び次年度の予定
電気使用量の削減 (電力の二酸化炭素排出係数:0.455)	節電 (昼休み等も活動)	・外出時は、消灯する。 ・外出時は、冷暖房設備の主電源を切る。 ・外出時はOA機器の主電源を切る。 ・なるべくコンセントを抜き待機電力を無くす。	継続します。
	クールビズ ウォームビズ	エアコン温度26度に設定 エアコン温度23度に設定	
化石燃料使用量の削減	車両によるガソリン・軽油の使用活動	・アイドリングの禁止 ・急発進、急加速、空ぶかしをしない。 ・タイヤ空気圧を給油時マメに点検調整する。	継続します。

2) 廃棄物排出量

A. 会社事務所

目標設定	活動計画	具体的な方法	評価
一般廃棄物量の削減	ゴミを減らす	・コンビニや自動販売機で買って出たゴミは購入店のごみ箱等に廃棄する。 ・新聞、雑誌、カタログ等は資源ゴミとして周知徹底する。	継続します。
	コピー用紙を減らす。	・使用済用紙の裏紙を利用する。 ・可能な限り、両面コピーに心がける。	継続します。

B. 工事現場

目標設定	活動計画	具体的な方法	評価
産業廃棄物量の削減	ゴミを減らす	・作業員のコンビニや自動販売機で買って出たゴミは購入店のごみ箱等に廃棄する。 産廃と一般ゴミと混合しない。 ・段ボール、梱包材など各メーカーに引き取らせメーカーに再利用してもらう ・なるべく分別し、マニフェスト管理する。	継続します。

3) 総排水量

A. 会社事務所

目標設定	活動計画	具体的な方法	評価
水使用量の削減	節水	・節水コマに随時取替え、点検し維持する。 ・ロータンクにペットボトルを入れ節水する。	節水に努め、水道水の使用を削減できました。

B. 工事現場

目標設定	活動計画	具体的な方法	評価
水使用量の削減	異常の無いことの確認	・工事用給水栓に水漏れがないか常時点検する。	水道水の使用量を削減できました。

※ 工事現場において、顧客支給の場合は除く。(営繕工事等)

4) 化学物質の適正管理

B. 工事現場

目標設定	活動計画	具体的な方法	評価
管理と使用量の把握	化学物質の含有確認	・発注時に確認する。	継続して実施する。

5) グリーン購入法商品の調達(エコマーク)

A. 会社事務所

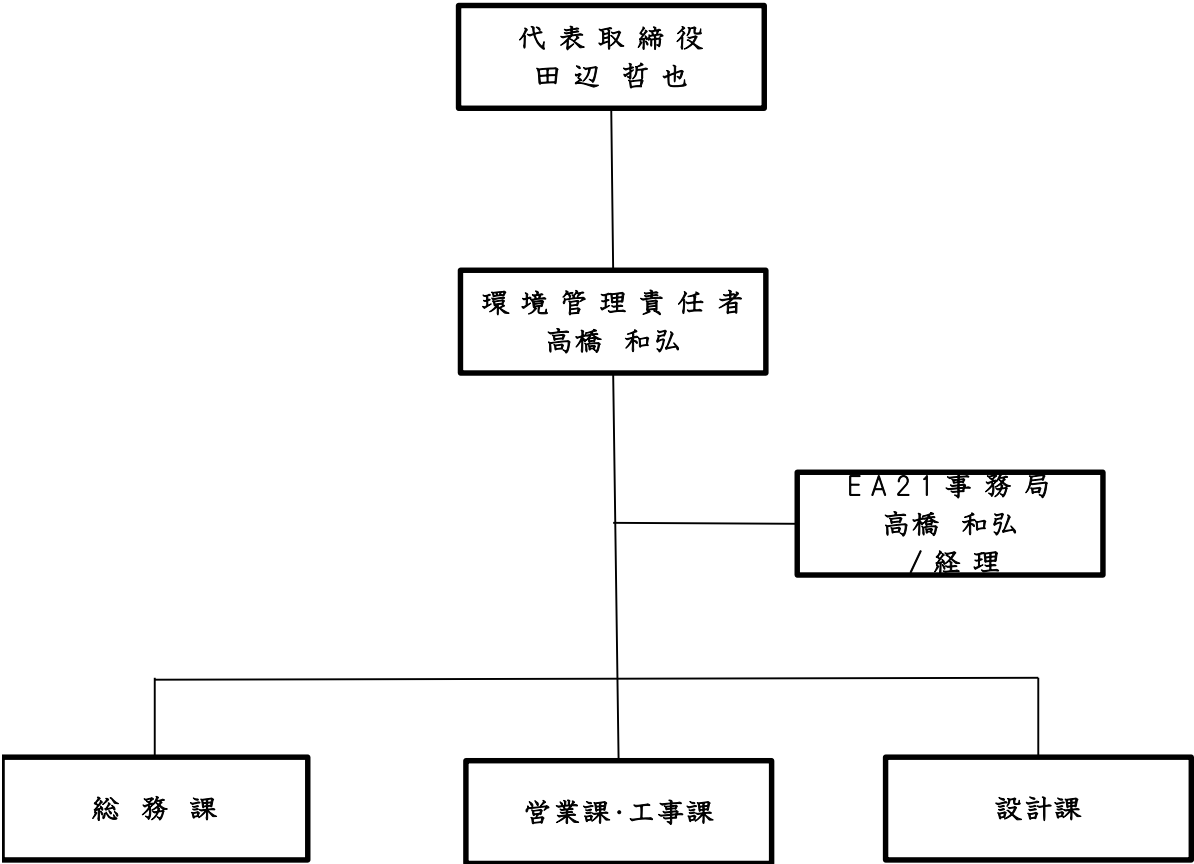
購入商品	活動計画	具体的な方法	評価
コピー用紙	環境製品の購入、使用	・発注時に確認する。	継続して実施する。

6) 環境対応設計・施工

B. 工事現場

目標設定	活動計画	具体的な方法	評価
環境対応の提案	設計、施工時 環境対応型製品の提案をする	・会議を行い会社全体として半端な材料を他の現場で使用できるように提案し、無駄をなくす。	継続して実施する。

V. エコアクション21 組織図及び実施体制



役割分担表

所 属	役 割 ・ 責 任 ・ 権 限
代表取締役	経営における課題とチャンスを整理し、明確にする。 環境経営方針に従業員へ周知する。 環境方針の設定・環境管理責任者の任命・会社資源の整備調達・全体の評価と見直し。
環境管理責任者	環境システムを構築し、運用し、システムの総責任者としての状況を把握し、社長へ報告する。
EA21事務局	基本データの整理、書類作成、書類管理、環境経営レポートの作成
総務課	会社事務所の電力・化石燃料・水使用量・ガス・一般廃棄物・紙類の管理
営業課・工事課	工事現場の電力・水使用量・一般廃棄物・産業廃棄物の管理
設計課	設計監理における電力・水使用量・一般廃棄物・産業廃棄物の管理（工事部と殆ど一緒）

Ⅵ. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

当社の事業活動に適用される環境関連法規等については、
環境法規制等順守等取りまとめ表(順守評価記録)により、2025年4月7日に
評価した結果、環境関連法規への違反はありません。なお関係当局よりの
違反等の指摘は過去3年間ありません。

環境関連法規	遵守状況
廃棄物処理法	○
建設リサイクル法	○
容器包装リサイクル法	○
家電リサイクル法	○
大気汚染防止法	○
オフロード法	○
フロン排出抑制法	○
建築基準法	○
騒音規制法	○
振動規制法	○
悪臭防止法	○
水質汚濁防止法	○

VII. 代表者による全体評価と見直しの結果

2025年4月7日に「EA21マネジメントレビュー」を実施し下記の通り記録しました。

年度ごとに環境について考え検討し改善、実施を行ってきて評価できる結果は出ておりましたが、目標達成数値まで届かなかった項目もあるので再度検討していくようにする。

水道、電気の使用量は減少していた。

建材関係の現場使用に関して残材は減少したが、産業廃棄物が増えていた。(リフォーム工事が多く解体発生材増の為)